2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月13日

上 場 会 社 名　　株式会社コアコンセプト・テクノロジー　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　4371　　URL　https://www.cct-inc.co.jp
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長CEO　　（氏名）　金子　武史
問合せ先責任者　（役職名）　執行役員　経営管理本部長　（氏名）　梅田　芳之　　(TEL) 03(6457)4344

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無　　：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	17,244	12.0	1,746	10.0	1,755	10.3	938	△17.1
2025年12月期第３四半期	15,393	7.8	1,588	△3.1	1,592	△4.2	1,132	0.1

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　938百万円(△17.1 %)　2025年12月期第３四半期 1,132百万円(0.1 %)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	58.28	56.70
2025年12月期第３四半期	67.55	65.09

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	9,292	5,656	60.9
2025年12月期	8,561	5,058	59.1

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　5,655百万円　　2025年12月期　5,056百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	0.00	ー	19.00	19.00
2026年12月期	ー	0.00	ー		
2026年12月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	10.2	2,430	10.4	2,450	11.2	1,330	△11.4	82.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　有

新規　　ー社（社名）ー　　、除外　　１社（社名）株式会社Pros Cons

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、（添付資料）７ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	17,902,800株	2025年12月期	17,602,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,646,196株	2025年12月期	1,376,888株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	16,108,228株	2025年12月期３Ｑ	16,759,423株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
第３四半期連結累計期間 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第３四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢の改善や賃上げが進み、設備投資は持ち直しており、景気は緩やかに回復していますが、中東情勢の一層の緊迫化等により、先行きには不透明感が残る状況が続いております。

なお、中東情勢が当社グループの事業及び業績に与える影響については、当社グループの主要な事業が国内向けのDX支援及びIT人材調達支援であり、エネルギー調達や海外サプライチェーンへの依存度が低いことから、現時点において限定的であると認識しております。引き続き今後の状況を注視し、影響が把握でき次第、適時に開示してまいります。

当社グループが属する情報サービス業界においては、中長期的にシステムインテグレーション（SI）市場規模に緩やかな拡大が見込まれ、その中でも当社グループがサービスを提供しているデジタルトランスフォーメーション（DX）市場が占める割合は拡大が見込まれます。当社グループが注力する製造業・建設業・物流業では人手不足への対策、ベテランノウハウの継承、脱炭素への取組みが重要な経営課題となっており、これまでの一部の業務のデジタル化に留まらず、大企業を中心に全社横断的なDX投資が加速し、市場の拡大をけん引しています。

また、IT産業における外部委託市場規模も拡大しています。一方で、ITエンジニア不足により需給が逼迫している状況において、当社グループは中小IT企業とそこに所属する従業員のデータベースである「Ohgi」を活用することにより、顧客のIT人材需要に対して迅速に応えることが可能です。また、「Ohgi」を活用してプロジェクト体制を組むことで従業員数以上のDX案件受注が可能になる点も当社グループの強みとなっています。他方で、昨今のAIの進化は著しく、外部委託市場の先行きについては不透明感が増しております。当社グループは比較的上流工程のIT人材調達支援に注力していることから、現時点における影響は限定的です。

このような状況のもと、DX支援については、売上高8,574,473千円（前年同期比17.9%増）、IT人材調達支援については、売上高8,669,709千円（前年同期比6.8%増）となりました。

当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高17,244,183千円（前年同期比12.0%増）、営業利益1,746,851千円（前年同期比10.0%増）、経常利益1,755,782千円（前年同期比10.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益938,902千円（前年同期比17.1%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、信託型ストックオプション関連損失296,928千円を計上したことにより減少しております。これは第３回新株予約権の一部について、受益者に対しストックオプションを交付する方式（ストックオプション交付型）から、株式を交付する方式（株式交付型）へ変更したことにともなうものです。当該損失は税務上損金算入されないため法人税等の減少効果が生じず、その結果、当第３四半期連結累計期間における実効税率は前年同期と比較して高くなっております。

なお、当社グループはDX関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

（２）当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①財政状態の状況

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における資産合計は9,292,637千円となり、前連結会計年度末に比べ730,858千円増加いたしました。これは主に、売上高の増加にともない売掛金及び契約資産が560,070千円増加したこと、現金及び預金が159,310千円増加したことによるものです。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債合計は3,636,102千円となり、前連結会計年度末に比べ132,332千円増加いたしました。主な増加要因は外注費の増加にともない買掛金が85,351千円増加したこと、資金需要に機動的に対応するため、短期借入金が420,000千円増加したことによるものであり、主な減少要因は法人税等の納付により未払法人税等が244,579千円減少したこと、定期及び決算賞与の支給により賞与引当金が123,639千円減少したことによるものです。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産合計は5,656,534千円となり、前連結会計年度末に比べ598,525千円増加いたしました。主な増加要因は親会社株主に帰属する四半期純利益938,902千円の計上と配当金の支払308,292千円により利益剰余金が630,610千円増加したこと、信託型ストックオプションの行使等により資本金が159,966千円増加、資本剰余金が160,857千円増加したことによるものであり、主な減少要因は自己株式の取得等により自己株式が352,403千円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は60.9%（前連結会計年度末は59.1%）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想は、2026年２月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,505,801	2,665,111
売掛金及び契約資産	3,485,455	4,045,526
仕掛品	36,331	17,991
その他	410,798	413,404
貸倒引当金	△8,295	△9,578
流動資産合計	6,430,092	7,132,455
固定資産		
有形固定資産	237,802	311,022
無形固定資産		
のれん	570,677	517,342
顧客関連資産	217,804	197,767
その他	288,060	282,356
無形固定資産合計	1,076,543	997,465
投資その他の資産	817,340	851,693
固定資産合計	2,131,686	2,160,181
資産合計	8,561,779	9,292,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,294,756	1,380,107
短期借入金	180,000	600,000
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	2,856	3,516
未払法人税等	457,796	213,216
賞与引当金	330,017	206,377
品質保証引当金	14,811	1,237
受注損失引当金	60,652	58,652
その他	942,958	938,904
流動負債合計	3,293,847	3,412,010
固定負債		
社債	15,000	5,000
長期借入金	34,288	31,486
退職給付に係る負債	24,000	23,250
資産除去債務	57,489	78,713
その他	79,145	85,642
固定負債合計	209,923	224,092
負債合計	3,503,770	3,636,102
純資産の部		
株主資本		
資本金	570,348	730,314
資本剰余金	534,630	695,487
利益剰余金	6,060,346	6,690,956
自己株式	△2,108,365	△2,460,769
株主資本合計	5,056,958	5,655,988
新株予約権	1,050	546
純資産合計	5,058,008	5,656,534
負債純資産合計	8,561,779	9,292,637

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	15,393,233	17,244,183
売上原価	11,208,027	12,607,305
売上総利益	4,185,205	4,636,877
販売費及び一般管理費	2,596,770	2,890,025
営業利益	1,588,435	1,746,851
営業外収益		
受取利息	3,124	6,050
持分法による投資利益	3,549	28,647
補助金収入	17,455	14,815
保険解約返戻金	8,000	－
その他	1,613	8,250
営業外収益合計	33,743	57,762
営業外費用		
支払利息	2,379	5,340
投資事業組合運用損	5,547	18,315
支払手数料	21,615	23,886
その他	343	1,289
営業外費用合計	29,885	48,831
経常利益	1,592,294	1,755,782
特別損失		
信託型ストックオプション関連損失	－	296,928
特別損失合計	－	296,928
税金等調整前四半期純利益	1,592,294	1,458,854
法人税等	460,064	519,952
四半期純利益	1,132,229	938,902
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,132,229	938,902

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	1,132,229	938,902
四半期包括利益	1,132,229	938,902
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,132,229	938,902

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当第３四半期連結累計期間において、信託型ストックオプションの行使を主な要因として資本金が159,966千円、資本剰余金が160,857千円それぞれ増加しております。この結果、当第３四半期連結会計期間末において資本金が730,314千円、資本剰余金が695,487千円となっております。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

当社グループの事業セグメントは、DX関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	115,738千円	118,142千円
のれんの償却額	53,335〃	53,335〃